

木の家づくりを通じて暮らしを提案する

KoKola**b**.

隔月刊ココラボ通信

NO. **90**

2021.April

完成現場報告 藤枝市 / 『光彩の家』

自然と一体になった 快適な暮らし

自然と一体になった 快適な暮らし

完成現場報告

藤枝市／『光彩の家』

文・写真／ココラポ 山崎健治



ダイニングキッチン：

作業性を重視したアイランド型のキッチンスタイル。ダイニングとつながり、リビングとは程よい関係でつくられ、家族の様子を感じながらもお料理に集中出来るキッチンを目指した。家具や照明、小物まで、自分たちの好みを集めたKさんお気に入りの空間。

『光彩の家』と名付けたKさんの住まいは、大きな窓から山の木々や川沿いの桜並木が見え、四季を通じて景色を楽しむことができる敷地に建っています。賢沢で恵まれた立地ですが、この土地に建築するまでの道のりは長く、Kさんと共に進めていきました。元々Kさんご家族は、同地区の少し離れた場所にご両親と一緒に暮らしていました。自然豊かで気持ちの良い場所ではありましたが、3人のお子さんも成長し、それぞれの進学や通学を考えた時、もう少し利便性の良い土地に暮らす事を考えました。今までに比べ、立地の良い場所にお父さんの所有する農地があったのですが、農地ゆえに建築出来ないだろうと諦めていました。ですが、色々な土地を見れば見るほど諦めていた土地に心が惹かれ、何とか建築出来ないか？と考えるようになりました。私がKさんご夫婦と知り合ったのもこの頃で、土地の相談を受けて、土地家屋調査士と共に協力させていただく事になりました。私や土地家屋調査士が農業委員会に農地転用の相談に行ってもなかなか取り合ってもらえない事が続きましたが、何度か奥さんが自分たちの思いを伝えに行き、農地転用について検討してもらえる事になりました。様々な要因があったのだと思いますが、そのきっかけをつくったのはKさんご夫婦の熱意だと思います。その後、土地家屋調査士を通じて申請を行い、1年以上の歳月をかけて

農地転用の許可を取る事が出来ました。土地の造成などにも時間がかかり、土地の相談から完成まで3年程の月日がかかりましたが、念願の土地に家を建てる事が出来、今までの苦勞が報われる形となりました。

建築の許可がまだ確定していない段階ではありましたが、農地の申請と並行して設計に着手していきました。雄大な景色を取り込む窓、家族みんながのびのびと暮らせるスペースと間取り、恵まれた敷地条件を最大限に生かし、シンプルな平屋建てのプランを提案しました。一般的に平屋建ての建築費は高いのでは？と考える方が多いと思います。確かに、同じ面積で比べた場合は、基礎工事や屋根工事の面積が大きくなり建築費用が高くなりますが、2階建てに比べて平屋建ての方が階段や廊下といった共有部分を小さく出来るため、コンパクトな間取りをつくる事が出来ます。建築費用は面積を小さくすることで大きなコスト削減になり、素材や設備、構造などにかかる費用と比べても高いウエイトを占めています。Kさんの家の計画もメリハリをつけたプランを考え、家族の集まる広間やダイニングは広く開放的に、個々のスペースや玄関などはコンパクトに設計しました。家族5人十将来はご両親との同居を考えたプランですが、32坪弱の床面積でまとめる事が出来ました。



南側の田んぼから見る外観：
周辺の景色に溶け込んだシンプルな平屋スタイル、
遮るものがなく、どの部屋も日当たり良好のお宅に
なった。

広間空間：
部屋の少し奥まった位置にソ
ファーコーナーを設け、落ち着き
のある空間をつくった。窓からの
景色と合わせて見られる位置に薪
ストーブを配置した。

利用する人、玄関や土間で外部とのつながりを楽しむ人など様々です。その中で私が大切にしている事は、なるべく色々な場所から炎が見える所に設置する事です。薪ストーブは暖房器具としての役割だけでなく、炎を見ているだけで心が落ち着きます。ソファーやダイニング、キッチンからも見える位置に設置する事で、家族みんなが見える事が出来、薪ストーブが大黒柱のような存在になると思います。キッチンから見える場所に設置するもう一つの理由は、家事をしながら炎が確認出来るようにする事です。忙しい毎日、寒い日は帰宅して一番に火を入れると思いますが、薪ストーブの前に座って火がきちんと着いたか確認している時間は無く、バタバタと家事を行うと思います。ちよつと違う事に気を取られていると、知らないうちに火が消えてしまい、一度火が消えて本体が冷えてしまうと、再度着火するのが難しい事があります。ちよつとした事ですが、家事をしながら横目で確認出来る位置に薪ストーブを置く事でストレスが減ります。Kさんのお宅の薪ストーブは、広間とダイニングの境に設置しました。どの場所からも炎を見る事が出来、また窓と窓の間にあるので、外の景色を見ながら炎を見る事が出来ます。休日はまだ明るい時間から薪ストーブに火を入れ、外の景色と一緒に炎を見て楽しむのもいいですね。とても贅沢な時間が過ごせそうです。

ダイニング：
垂木を格子状に現したダイニングの勾配天井、リズムカ
ルな印象と、光の陰影が心地よい。Kさんがいち早く取
り付けた時計が目止まる。両面から見える時計で、視
認性バツグン。



じっくりとイメージをつくり上げたインテリアと薪ストーブ
Kさんの家は、コロラボの家の雰囲気とは少し違い、ノスタルジックなムードのある家だと思っています。照明器具や家具などの統一されたインテリアから少しレトロな懐かしさを感じ、垂木を現した勾配天井や山桜の床板、グレイがかかった漆喰の壁などから、素材の力強さを感じます。コロラボのつくる木の家ではありますが、ちよつとした素材の使い方やインテリアの選択で、また違った雰囲気を感じるお宅になりました。土地の申請などで着工までの時間があり、色々調べる事が出来たそうで、設備や家具を見に行ったり、インターネットで小物を調べたりと、自分たちに合った家に近づけるため、時間を掛けて選んでいきました。中でもソファーは何度か大阪にある家具ショップ『TRUCK FURNITURE』に通い、じっくりと検討したと話してくれました。時間をかけた分だけ納得のいく選択が出来、家の完成と共にKさんワールドの住まいが出来ました。
Kさんの家にもある薪ストーブ、もはや説明不要のコラボアイテムですが、毎回、設置場所に悩みます。薪ストーブは使い方が次第で設置場所も異なり、リビングで炎を楽しむ人やキッチンの近くでクッキングに



キッチンを中心に廻れるプランのキッチン。対面カウンターなどの遮るものが無く、どの方向からもお手伝いする事が出来る。キッチン水栓や冷蔵庫など、黒にこだわった設備で統一。細部までこだわりのキッチン。



実際にお料理している様子を拝見し、作業スペースや流れなど、今後の設計の参考になった。手際の良い奥さん。お料理の様子を見ているだけでも楽しい。



お父さんお手製の手打ち蕎麦をいただきました。蕎麦の香りが良く、とても美味しかった。



キッチンからの眺め：
キッチンからダイニング越しに四季折々の景色が楽しめる。今年は桜の開花が早く、3月下旬には満開を迎えていた。料理をしながら外の景色が眺められ、リラックスした気分でお料理が出来そう。



家事動線と 使いやすいキッチン

家の中心に配置した広間は、2つの空間に分かれています。どちらも同じ広さですが、向かって右側にソファやテレビのあるリビング、左側にキッチンとダイニングがあります。リビングは玄関と和室につながり、キッチンとダイニングは、水周りとならび、子供室とつながっています。ゆったりと静かな雰囲気のリビングに比べ、キッチンとダイニングは、家事動線を重視しました。家事は「ながら作業」。料理をつくりながら洗濯物を干したり畳んだり、片付けをしながらお子さんの勉強を見たり、明日の準備をしたりと、少しでも効率的に動ける工夫が大切です。作業の中心はキッチンになるので、そのまわりに水周りや子供室などを配置しておくことで、ちょっとした動線になります。Kさんの家では、リビングからキッチンが直接見えない配置となっていますが、壁の一部に格子を取り付け、お互いの様子がわかる工夫をしています。これは、子供たちがソファにいても何をしているかわかり、また玄関への出入りがキッチンからも見えることで、ちょっとした用事でも、作業の手を止めて確認する手間が減ります。見える・感じる・音がする、家の中では、ちょっとした事で家族の動きがわかり、安心にもつながっていきます。

家事動線のなかでもキッチンの配置は重要です。壁に面して設置したり、ダイニングやリビングに直面して配置するなど、様々なパターンがありますが、Kさんの家では、シンクとコンロのある大きなキッチンカウンターの中心にし、そのまわりをぐるっと廻れるプランとしました。大きなキッチンカウンターでダイニング側からも作業が出来るため、ご夫婦一緒に料理したり、お子さんもお手伝いしたりと、みんなでワイワイ楽しくお料理出来ます。キッチンカウンターの背面には、食器棚と調理器具棚、冷蔵庫が並んでいます。食器棚をキッチンと合わせて造りつける方も多いですが、Kさんは好みに合わせて家具屋さんオーダーしました。懐かしさのある形と色合いで、Kさんの家にぴったりとマッチしています。キッチンは使いやすさ重視とし、棚の配置や高さなど、細かな寸法を共に考えた事を思い出します。撮影の日、お父さんが朝打ってくれた手打ち蕎麦のランチをいただきました。キッチンでの作業の様子も拝見出来、使い方や作業の流れなど、今後の勉強になりました。作業中はカウンターの上に竹かごやお櫃、羽釜などが並び、手際よくお料理されていました。日常的に手仕事の道具を使っているっていいですね。我が家でも竹の水切りカゴを使っていますが、便利だけでなく、インテリアにもなります。



ハンモックに揺られて：
完成後、梁と梁の間にハンモックを掛けたKさん。遊び心のあるKさんのお宅にはピッタリのアイテムです。



朝比奈川沿いの桜並木：
家の窓から見える桜並木と朝比奈大龍勢の櫓、他にも吊り橋などがあり、家の周りが素敵な散歩コースになっている。

木の家に合わせたKさん流の空間づくり

コロボのつくる木の家は、地域木材をふんだんに使った、自然味あふれる家ですが、家具や照明、漆喰の色合いなどで、雰囲気が変わってきます。今回はKさんご夫婦のこだわりが空間をつくり、ノスタルジックな雰囲気の木の家が出来ました。



DJコーナー：
Kさんの趣味に合わせてつくったDJコーナー。機材と数え切れないほどのレコード盤を収納する棚を造りつけた。



ソファコーナー：
お気に入りのソファで、ふかふかのクッションで、座ると立ち上がれない程に気持ち良い。スタンド照明や少しグレー掛かった漆喰などと合わせて、クラシックな雰囲気をつくっている。



浴室：
コロボ定番の木の浴室。ハーフユニットバスと青森ヒバでつくった、清潔感と清涼感のあるお風呂。



洗面カウンター：
木のカウンターと洗面ボウルでつくった洗面台。鏡収納や水栓はKさんが見つけたアイテムを使用。



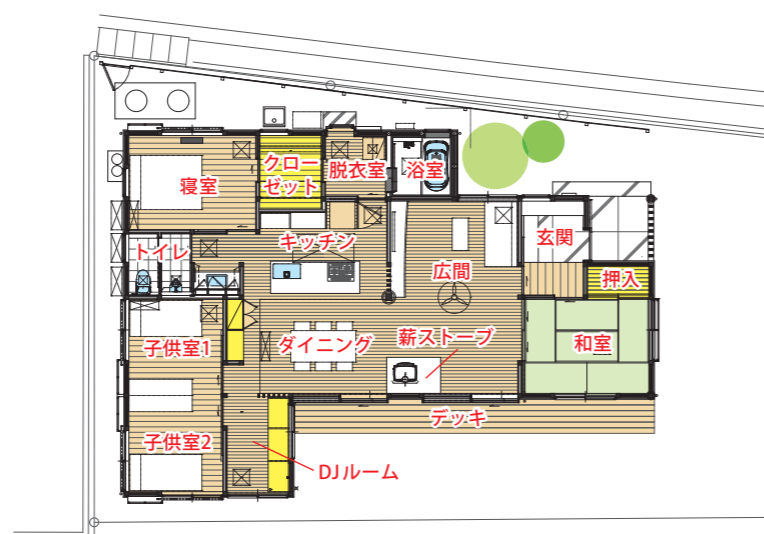
薪ストーブ：
窓と窓の間に薪ストーブを配置した。広間やキッチンから炎が見え、暖かさ癒しをあたえてくれる。



玄関：
墨モルタルで土間を仕上げた玄関。板倉の木の壁と合わせて、コンパクトでシンプルな玄関とした。

仕様内容

家族構成	家族5人
敷地面積	296.10㎡
建築面積	112.35㎡
延べ床面積	105.17㎡
構法	落とし込み板壁構法
屋根	ガルバリウム鋼板縦ハセ葺き
外壁	ガルバリウム鋼板角波タテ貼
外部建具	マサ土掻き落し仕上げ 木製オリジナル建具 ナラ、タモ(ペアガラス) アルミサッシ(ペアガラス)
天井仕上	杉本実張り 厚12mm
壁	青森ヒバFJ本実板張り 厚15mm 漆喰塗、青森ヒバFJ本実板張り、クロス貼
床	山桜本実板 厚15mm・杉本実板 厚12mm
内部建具	木製オリジナル建具
キッチン	ステンレスヘアークライン天板 オリジナルキッチン
洗面化粧台	オリジナル洗面化粧台
浴室	日比野化学工業 ハーフユニットバス1坪タイプ
竣工	令和2年7月



1F 敷地平面図

快適な暮らしとは

暮らしやすさ、快適な暮らしは人によって様々です。交通や生活の便がよく、多少窮屈でもコンパクトに生活したい人や、日当たりや風通し、景色の良い所に暮らしたい人など、年齢や仕事、家族構成などでも違うと思います。仕事や子供たちの学校、両親の事など、その時々で変化があり、対応していく必要がありますが、その都度住まいを変える事はできません。一旦住まいを建てたら、多くの方がその家で長い時間、もしくは一生暮らす事になります。家を建てるという事は、自分たちの一生をつくるという事にもつながり、とても大切な選択となります。今回Kさんとの家づくりを行い、家を建てる大切さを改めて感じました。子供たちの事、両親の事、自分の育った地域や友人の事、Kさんはそれら全てを大切に思い、自分たちにとって最適な選択をしたのだと思います。土地の申請では苦労をしましたが、あの時諦めずに進んだからこそ、今の暮らしを実現する事が出来ました。自然との一体感を感じ、大切な人たちと時間を共有出来る今の暮らしは、Kさん家族にとってもかけがえない暮らしだと思えます。今年はお家から桜を楽しむ事が出来ましたね。これからもKさんワールドいっぱいのお家で、素敵な時間を過ごして行ってください。

元気一杯！ 笑顔になる野菜

～心も体も元気になって、笑顔になる野菜～

Lalala PLaNET plus (ラララ・プラネット・プラス)

蓮華寺池公園近くにある無農薬野菜の八百屋です。地元の新鮮でおいしい野菜、有機野菜や自然農法の野菜を取り扱い、お野菜を中心とした心と体がほっこりするランチも大好評。元気で笑顔になるお野菜を食べに買いに来てください。
[住所] 藤枝市若王子1-2-34 [Facebook] LalalaPLaNETplus
[TEL] 090-1985-6285 [Instagram] lalala_plus.kumi

山本ファームズさん

Lalala PLaNET plus さんで取り扱っている安心安全な野菜は、どのような農家さんがどのようなこだわりをもってつくっているのでしょうか。採れたての野菜を届けてくださる農家さんの想いをご紹介します。

藤枝市に畑がある山本ファームズさん。

山本さんの作るお野菜はとにかく『美人さん』。お店にお野菜（特に茄子）を持ってくるときに『キレイでしょ～』『美人を集めてきました!』と嬉しそうに持ってきてくれます。その姿からもお野菜を丁寧に作り袋詰も丁寧に愛情がすごく伝わってきます。

山本さんはご実家が農家さんではなく『安心して食べられる野菜を売っているお店が近所になかったから、なければ自分でつくればいいや』とお野菜を作りはじめ、今では生産者さんに。そして農業のこだわりは『自分が納得して食べられる野菜を育てることが基本です。安心して食べられる野菜を探している人がいたらその人にも食べてもらいたい』とのこと。生産者さんが安心して食べられるお野菜を作り販売してくれるのが、本当に消費者として心強く思います。

『買って食べてくださるみなさんに、食べてみたい・買ってみよう、と思って頂ける野菜を育てるのが一番大切なことです。野菜が畑で蓄えた自然の恵みを、みなさんの食卓に届けられたら素晴らしいこと』と話してくださいました。そしてこれからの農業のあり方とは、『AIの進歩で農薬と化学肥料に頼らなくても「安全な」野菜を育てることが出来るようになるでしょう。それらの野菜はインターネットで注文され、宅配されるのが今より普通になるかもしれません。でも八百屋の店先で野菜との出会いの楽しみを求める人はなくならないと思います。農業は単に野菜を育てる営みではなく人々の暮らしの場で生き続けることだと思います』ただ野菜を作るだけではなく、野菜を通して食卓や人との繋がりも考えて作ってくれるアツい想いの山本さん。

山本さんの得意なお野菜は『トマト』。これから旬を迎えるトマト楽しみです。



ゴーヤのサラダ



- 1) ゴーヤは半分にとって白い綿と種をスプーンで取り、薄切りにする。
- 2) 塩で揉み、しんなりしてきたら、沸騰したお湯でざっと茹でる。
- 3) 水気を切り、ツナ(なまり節でもOK)、マヨネーズ、塩コショウで和える。(生の玉ねぎや人参やきゅうり、コーンを入れても彩り鮮やかです)

※苦みが好きな方は厚めに切り、苦手な方は薄切りがオススメ。
※白い綿は苦味が強いので、キレイに取ると苦味が薄くなります。

オクラの肉巻きフライ



- 1) オクラをまな板で板ずりする(茎とへりみみたいな所(がく)を面取りのように取る)。
- 2) 薄切り肉を巻き、小麦粉を水で溶いたものとパン粉をつけてフライにする。

※オクラと薄切り肉の間に大葉を巻いても美味しいです。
※醤油粕を乗せて食べると絶品です。
※薄切り肉に塩コショウをしてから巻くとフライにした時に何も付けなくても美味しく食べられます。

「コラボ設置店」より

こだわりのお店紹介

静岡よみかえる工房



日本の伝統文化である着物。近代薄れつつある伝統とともに、あなたと過ごした大切な方の思い出も薄れていませんか? 「形見分けで受け継いだ着物だけでも、タンスの奥に眠ったまま…」よみかえる工房の使命は、このようなご相談にお答えすることです。素晴らしい「和」の宝を、現代にあわせたカタチにリメイク。大切な思い出がいつまでもあなたのそばで、あなたとともに、輝くお手伝いをいたします。

静岡よみかえる工房

静岡市葵区瀬名5-12-23
[TEL] 090-7679-5307
[OPEN] 11:00~16:00
[定休日] 土・日曜・祝日定休
[URL] <https://yomikaeru.com>
<https://yomikaeru.thebase.in/> (販売サイト)

よみかえる工房さんからお知らせ

ネット販売はじめました!

着物は持っていないけど、自分や海外のお友達へのプレゼントに人とは違う世界にひとつのオリジナル商品が欲しい! そのようなお声にお応えして、手軽に、でもこだわりの小物をそろえて販売もしております。きっと、あなた好みの一品に出会えますよ。販売は上記をご覧ください。



レッカーランドフクカワ



本場ドイツ・オランダで金賞受賞した本場の味。店長が丹精込めて創り出すヨーロッパ最高スパイスの味と香り豊かな60種類以上のハム・ソーセージ・ベーコン。ぜひ、お好みの一品をお探しください。

レッカーランドフクカワ

浜松市中区西伊場53-5
[TEL] 053-451-3820
[OPEN] 10:30~18:30
[定休日] 火曜日・第3月曜日
[URL] <http://www.leckerland.com/>

レッカーランドフクカワさんからお知らせ

自家製三ヶ日牛コンビーフ

三ヶ日牛を使用し、ゼラチンで固めたヘルシーなコンビーフです。ふじのくに新商品セレクション金賞を受賞。表面のロードとコンビーフを混ぜると霜降りのコンビーフとなります。



KoKola**b**.

隔月刊 ココロボ通信 No.90
2021年4月発行

発行人 有限会社こころ木造建築研究所
代表 山崎健治

〒427-0011 静岡県島田市東町1047-2

TEL : 0547-54-4556

FAX : 0547-54-4557

http://www.kokolab.jp

E-mail : office@kokolab.jp

担当

山崎良江(「ココロボ通信設置店より…」担当)

編集 … Branch 村上幸枝

印刷所 … 松本印刷株式会社

※本誌記事の無断転用や
コピーを禁じます。



【購読を希望されます方へ】

当社ホームページのお問合せフォーム又はTEL、FAX、E-mailのいずれかでお申込み下さい。

年間購読料…1,200円 / 一冊定価…200円

(上記料金は発送費として頂いております。)

※当社、もしくは通信設置店では、無料配布しています。

会社概要

当社は、地域木材と職人の伝統技術を用いて木の家造りを行っている設計事務所です。隔月刊の『ココロボ通信』、また『こころぼスクール』やイベントなどを通し、住宅や暮らしを取り巻く様々な情報を発信しております。

編集後記

今年も春がやってきました。昨年の春は自粛が始まり、困惑の中で過ぎていきましたが、感染対策やマナーも浸透し、今年は少し春を楽しむことも出来そうです。今回特集したKさん宅の窓からは、近くの山並みや川沿いの桜が綺麗に見えます。家のから季節の移り変わりが見えるのは贅沢で素敵ですね。桜と言えばソメイヨシノをイメージする方が多いと思いますが、家づくりでは、ヤマザクラやシュリザクラを床板やカウンターとして使います。Kさんのお宅の広間にも使われ、硬くて丈夫、赤みのある色も人気です。季節を感じる日本の木を家の中で使えるっていいですね。ぜひ家づくりに取り入れていただき、たくさんの方にワクワクする素敵な家を建てていただきたいです。(山崎健治)

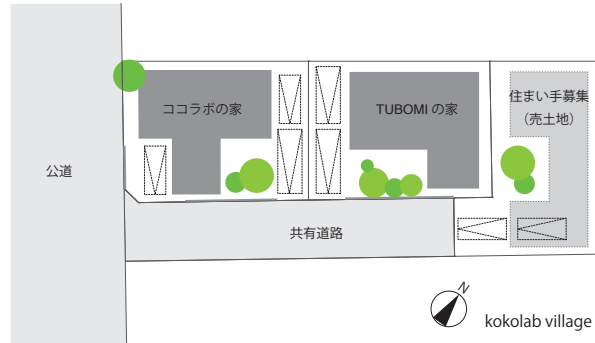


Information

🏠 静岡市駿河区 kokolab village 建設中

ココロボの小さな街づくりとして提案する kokolab village の建築が、静岡市駿河区で進んでいます。周辺に負担を掛けないプロポーシオン、植栽を交えた豊かな景観、ライフスタイルを提案する小さなお店など、地域の方々と共に心地よく暮らしていける場をつくりたいと思います。

工事中の様子をブログに配信中……建築途中の見学会やイベントなども企画していますので、是非チェックしてください。



kokolab 公式 LINE

『こころぼの家』information

『こころぼの家』では毎月テーマを決め、ココロボ通信設置店さんなどに協力をいただきながら暮らしにまつわる展示やイベントを行っています。また四季の暮らし方に合わせた木の家暮らしを体験できるみんなの木の家として、様々な企画をしています。

現在ご案内している教室・イベントにつきましては、開催の予定ではありますが、コロナウイルスの影響により中止、または延期になる場合がございます。変更の場合はFacebookとInstagramにてご案内いたしますので、そちらをご確認ください。何とぞご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

5月

中津箒小箒さん主催

中津箒小箒ワークショップ

5月7日(金) ①10:00~ ②13:00

中津箒の簡型小箒を作ります。(1時間程度)

[参加費]2,200円

[申込] Instagramの@kenya_kobaへDM

LINE(ID: 11732580)まで



6月

治療室すずみさん主催

「宙〜そら〜」

6月2日(水) ①10:00~ ②13:40 (予約制)

ieno coffee ドリップ教室

"お家珈琲時間をより愉しむご提案"

[参加費]3,000円(お土産珈琲100gと小さなお菓子付き)

[申込] ieno coffee さんの Instagram (@ienocoffee11)へ

DMでお申込みください。



BREAD Lab conoca さんの

パン教室&パンの販売

★天然酵母で作るパン教室を開催します。

5/18(火) クレームシトロン(レモンパン)

6/15(火) 抹茶ベーグル

[申込] takazou1916@gmail.com

ご希望の開催日5日前までに、お申し込みください。

★月に一度のパンの販売日 11:00~ 5/14(金)、6/11(金)



自宅パン教室 出張教室 講師・レシピ考案委託
mail: takazou1916@gmail.com

◆場所：『こころぼの家』 島田市東町1370-4

イベントの詳細や今後の展示・イベントなどは、当社Facebook「KoKola**b**.」、instagram「kokolabnoie」でお知らせしていきます。また、見学や体験などについては随時予約を受け付けていきますので、電話やメール、お問合せフォームなどでお気軽にご連絡ください。